

『わたしはよみがえりです』

キャスト

マルタ

マリア

ラザロ

イエスさま

弟子たち

村人たち

小道具

* イス（布でカバー） * クッション人数分 * 小さなテーブル

* ボウルとヘラ * おけとタオル

* 白い布（ラザロの体に巻く） * 丸い墓石（段ボール製）

○ベタニア村 三姉弟の家。

イス、クツシヨン、おけとタオル、ボウルの乗ったテーブルが
舞台奥に置いてある。

ナレーター 「今から二千年ほど前のこと。ここユダヤの国で、イエスさまは
弟子たちとともに、毎日朝から晩まで、国中で神さまの教えを
宣べ伝え、人々を助けていらつしやいました。そしてエルサレム
においでになる時はいつも、近くのベタニアという村でお泊まり
になりました。この村には、イエスさまがとも仲良くしてい
らしたきょうだいの住む家があったのです。お姉さんの名前はマル
タ。妹の MARIA。そして弟のラザロ。」

マルタ、MARIA、ラザロ登場。

マルタはヘラを持ってせかせかしている。

マルタ 「もうすぐイエスさまたちがお着きになるわよ。お食事のしたくを
急がなきゃ！ MARIA、お客さまのしきものをならべて！」

MARIA 「はい。」（クツシヨンをならべていく）

マルタ 「ラザロはみなさまの足を洗う水を用意してちょうだい！」

ラザロ 「よшきた！」（イスを舞台中央に、その前におけとタオルを置く）

マルタはせかせかとテーブルのボウルに向かう。

ナレーター 「このころのユダヤでは、一番上のお姉さんはおうちのことを全部
やらなくてはいけなかったのです。そうじ、洗濯、ごはん作り、
きょうだいの世話… ほかにもいろいろ。たいへんですね。」

そこにイエスさま一行が入ってくる。

イエスさま 「（うれしそうに）やあマルタ（ハグ）、MARIA（ハグ）、ラザロ
（ハグ）。」

マリア 「さあどうぞ。おすわりください。」

イエスさまがイスにすわると、ラザロがその足を洗う。

マルタ 「すぐにお食事をお持ちしますから！」

マルタ、さつとテーブルに行き、客席に背を向けてヘラでボウルをまぜまぜ。

ラザロは弟子たちの足も洗い、マリアは拭き、弟子たちも次々にクッションにすわる。

最後にマリアとラザロがイエスさまの足元にすわる。

ラザロ 「さあ、今日も神さまのお話をお聞かせください！」

イエスさま 「では、こういうたとえをお話ししてあげましょう。美しい野の花は、どんなふうに着飾ろうかと心配していると、思いますか？
いいえ。だって神さまが面倒を見てくださっているんだから！」

マルタがマリアの方をふりむく。いらだっている。

イエスさま 「明日は何を着ようか、何を食べようかと心配しなくていいのです。

あなたがたはまず：」

マルタ、つかつかとイエスさまのところにやってくる。

マルタ 「イエスさま！ 私がこんなに忙しくしているのに、マリアは何もしないで…。手伝うようにおっしゃってくださいっ！」

イエスさま 「マルタ、マルタ、あなたはいろいろなことを思い煩って、心を乱しています。しかし、必要なことは一つだけです。マリアはその良いほうを選びました。それが彼女から取り上げられることはありません。」

マルタ、落ち着きを取り戻す。マリア、ちよつと体をずらす。

イエスさまの足元にマルタがすわる。

イエスさま 「だからあなたがたは、まず神の国と神の義を求めなさい。…」

音声途中でフェイドアウトしてOK。暗転。

イエスさま一行が客席通路を通って礼拝堂ドア外にはける。
見送ったマルタ、マリア、ラザロも舞台横にはける。
舞台上の小道具すべて引っ込める。舞台中央奥に墓石。ラザロ、
白い布をまき、墓石のうしろに隠れて一緒に出てくる。

ナレーター「ところが。イエスさまに愛されたこの幸せなきようだいに、ある日恐ろしいことが起こりました。ラザロが重い病気になつてしまつたのです。マルタとマリアはイエスさまにすぐ来てくださるようにと使いを出しました。が、なぜかイエスさまはなかなか出かけようとなさいません。とうとうラザロは、イエスさまに病気を治していただくことができず、死んでしまいました。」

○ベタニア村 墓石の前

マルタ、マリア、村人たち、泣きながら登場。
ドア外より通路を通ってイエスさまと弟子たちが歩いて来る。

マルタ、気がついて客席中央あたりまで駆け寄る。

マルタ「イエスさま！ あなたがここにいてくださったなら、ラザロは死ななかつたでしょうに！」

イエスさま「マルタ。ラザロはよみがえります。」

マルタ「終わりの日によみがえることは知っています…」

イエスさま「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。」

イエスさま、よくわからず混乱しているマルタの肩に手を置いて励ます。

イエスさま一行とマルタが舞台に近づくと、マリアも気がついてそばに来る。

マリア「イエスさま！ あなたがここにいてくださったなら、ラザロは死ななかつたでしょうに！」

また皆がオンオン泣くのを見て、イエスさまも泣きながら墓に向かつて叫ぶ。

イエスさま「ああ！ ラザロ！ ラザロ！」

村人1「イエスさまも泣いていらつしやる〜」（泣く）

村人2「どんな病人でもいやされる方がラザロは助けられなかったのか！」

ナレーター「しかしここでイエスさまはとんでもないことをおっしゃいます。」

イエスさま「だれか、墓の石を取りのけなさい。」

一瞬の間。

全員「ええええーっつ。」（腰抜かす）

マルタ「ムリです先生！ 死んで四日もたっています！ もう、とてもとても…」（首をふるふる）

イエスさま「（マルタの肩に手を置いて）信じるなら神の栄光を見る、とあなたに言ったではありませんか。（両手を天に伸べて）父よ、わたしの願いを聞いてくださったことを感謝します。あなたがわたしを遣わされたことを、彼らが信じるようになるために！」

（墓に向かつて手を伸べて）ラザロよ、出て来なさい！」

村人たちが墓石を横に動かすと… 白い布でぐるぐる巻きのラザロ、布を取りのけて立ち上がり、こちらを向く。

ラザロ「はい、イエスさま！」

少しの間（一同ぼーぜん…）

マルタマリア「（我に返って）ラザロ！ ラザロ〜ッ！」（ラザロにすがりつく）
全員「うわああっ！」「生き返った！」「奇跡だ！」「すごい！」

ナレーター「イエスさまのお力を目の当たりにした人々はみな、イエスさまのことを救い主と信じ、神の御子として礼拝しました。」

全員ひざまずいてイエスさまをあがめる。

全員正面を向いて並ぶ。歌う「

」